

卓上丸ノコ作業手順

作業工程	作業の順序	重点実施項目	危険・有害要因 (予想される災害)	重大性	頻度	評価点	評価	危険・有害要因の防止対策	(注) 誰が
卓上丸ノコによる材料切断	① 卓上丸ノコの始業前点検 (目視点検)	① 卓上丸ノコの電源プラグが、電源から抜かれている事を確認する	電源につないだ状態で誤ってスイッチに触れると、ノコ刃が回転しケガの原因となる	3	1	3	●	目視点検時:卓上丸ノコの電源プラグが、電源から抜かれている事を確認してから目視点検を実施する様、指導周知を徹底する	作業員
		② セーフティカバー(保護カバー):円滑に動く事を確認する	ノコ刃が露出したままでと、ノコ刃に触れケガの原因となる	4	2	8	●	セーフティカバー(保護カバー)は絶対に固定しない様に指導周知を徹底する	作業員
		③ セーフティカバー(保護カバー):ビビ割れ等ないか確認する	切断作業中、破損し飛散すると破損物に触れケガの原因となる	3	1	3	●	ビビ割れ等不具合のあるものは、使用しない。交換して使用する様、指導周知を徹底する	作業員
		④ ノコ刃:ノコ刃の締付けを確認する ビビ割れはないか確認する	切断作業中、破損し飛散すると破損物に触れケガの原因となる	3	1	3	●	ビビ割れ等不具合のあるものは、使用しない。交換して使用する様、指導周知を徹底する	作業員
		⑤ ガイドと丸ノコ刃の隙間:適正な状態か確認する(ノコ刃との隙間5mm程度)	隙間が広いと、材料がノコ刃に食い込んだ時、材料に回転する力が働き、ノコ刃に触れケガの原因となる	4	2	8	●	(旧型のものに隙間の広いものが多い)隙間の広い場合:ガイドに当て木を設けノコ刃との隙間を小さくする(安全に切断でき作業に支障ない隙間を確保)	作業員
		⑥ コード:コード及び延長コードの損傷はないか確認する	感電する 又、漏電すると現場の分電盤の漏電ブレーカーが働いて現場内が停電し作業が中断する	3	3	9	●	コード及び延長コードの損傷はないか確認するし、損傷のある物は使用しない事コードを引っ張ってコンセントから乱暴に抜かない等指導周知する	作業員
		⑦ ハンドル部(握り部):常に乾かしてきれいな状態か確認する 油等滑りやすい物が付着していないか確認する	ハンドル部(握り部)が滑りやすいと手元が狂いケガの原因となる	4	2	8	●	ハンドル部(握り部):常に乾かしてきれいな状態か確認する又油等滑りやすい物が付着していないか確認する様指導周知する	作業員
② 卓上丸ノコの始業前点検 (作動状況点検)		① 作動状況点検時:周囲の安全を確認してから機体の調子は良いか、異常音はしないか確認する	異常があると思わぬ動きをして、ケガの原因となる	4	2	8	●	卓上丸ノコに違和感や異常を感じたらが直ちに電源プラグを電源から抜いて、使用を止める。その後修理に出すことを指導教育周知する	作業員
		② 丸ノコ空転時:機体の振動はないか、ノコ刃の面振れはないか確認する	異常があると思わぬ動きをして、ケガの原因となる	4	2	8	●	卓上丸ノコに違和感や異常を感じたらが直ちに電源プラグを電源から抜いて、使用を止める。その後修理に出すことを指導教育周知する	作業員
		③ ブレーキ:ブレーキのきき具合は良いか確認する	ブレーキ:ブレーキのきき具合が悪いと、ノコ刃に触れてケガの原因となる	4	2	8	●	ブレーキのきき具合が悪い場合は直ちに電源プラグを電源から抜いて、使用を止める。その後修理に出すことを指導教育周知する	作業員
		④ ノコ刃:切れの良さ悪しを確認する	切れ味の悪くなったノコ刃を無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、ケガの原因となる	4	2	8	●	切れ味の悪くなったノコ刃は交換して使用する様指導周知を徹底する	作業員
③ 卓上丸ノコの機体据付	④ 施工図・現場実測により切断寸法を確認する	① 安全通路を避け、周囲に傾斜のない平坦な場所に据付、安定した状態にする	機体や材料につまづき、転倒する	4	3	12	●●	安全通路を避け、周囲に傾斜のない平坦な場所に据付、安定した状態にする様指導周知する	作業員
		① 脚立使用しての実測:無理な姿勢で実測をしない事 こまめに脚立を移動し、常に足元をしっかりささ、バランスを保つ様にする	バランスを崩して、転倒する	4	2	8	●	脚立使用しての実測:無理な姿勢で実測をしない事 こまめに脚立を移動し、常に足元をしっかりささ、バランスを保つ様指導周知する	作業員
⑤ 切断材料の数量・形状・傷等の確認	⑥ 切断材料を卓上丸ノコに仮セットする	① 材料の確認:節・釘等の有無を確認する	刃こぼれだけでなく、反発により思わぬケガの原因となる	4	2	8	●	材料の確認:節・釘等の有無を確認し、切断中に違和感、異常を感じたらスイッチを切り、切断作業を止める様指導周知する	作業員
				3	1	3	●		作業員
⑦ 切断位置を決める	① 切断位置を決める時:スイッチの位置をよく確認し、スイッチに触れない所でハンドルを握り、切断位置を決める		誤ってスイッチに触れると:卓上丸ノコにスイッチが入り丸ノコの刃が回転し思わぬケガの原因となる	5	1	5	●	切断位置を決める時:スイッチの位置をよく確認し スwitchに触れない所でハンドルを握り、切断位置を決める様指導周知する	作業員
⑧ 卓上丸ノコによる材料切断(加工専門)	① 精度を要求する加工切断(留め加工の建具枠)	イ 材料形状 切断本数 材料重量 建具枠: 12mmx30mmx2.2m 最大2本 3.9kgx2本=7.8kg							作業員
		ロ 高い加工精度が求められる:材料の形状本数により必要に応じて材料を定規(万力)に固定する							
⑨ 卓上丸ノコによる材料切断(一般大工)	② 精度を余り要求されない加工切断(壁天井木下地用間柱材、ベニヤ類 枕棚前框 雑巾摺り 廻り縁類)	イ 材料形状 切断本数 材料重量 間柱: 40mmx30mmx2.7m 最大4本 1.6kg/本x4本=6.4kg 枕棚前框:80mmx30mmx2.5m 最大2本 3.0kg/本x2本=6.0kg 化粧根太:40mmx30mmx2.5m 最大2本 1.5kg/本x2本=3.0kg 雑巾摺り :10mmx15mmx2.5m 最大2本 1.6kg/本x2本=3.2kg 天井廻り縁:10mmx15mmx2.5m 最大2本 0.2kg/本x2本=0.4kg カットベニヤ(ワラベニヤ):厚9.5mmx60mmx1.8m 最大4枚 1.6kg/本x4本=3.2kg							
		ロ 材料を固定している手:卓上丸ノコの刃に近付けられない様、手を丸ノコ刃から十分に離して巻き込まれない様慎重に使用する事	丸ノコ刃に手を近づけすぎると、手が触れて、ケガの原因となる	5	4	20	●●●	材料を固定している手:卓上丸ノコの刃に近付けられない様、手を丸ノコ刃から十分に離して巻き込まれない様慎重に使用する様指導周知する	作業員
		ハ 旧型卓上丸ノコ:旧型はガイドと卓上丸ノコ刃の隙間が約3cm~5cm程度と広がっています切断材が回転し持ち手が丸ノコ刃と接触する危険があるのでガイドに当て木を設置する	隙間が広いと材料が回転し持ち手が刃に触れケガの原因となる	4	3	12	●●	旧型卓上丸ノコ:旧型はガイドと卓上丸ノコ刃の隙間が約3cm~5cm程度と広がっています切断材が回転し持ち手が丸ノコ刃と接触する危険があるのでガイドに当て木を設置する	作業員
		ニ 短い材料の切断禁止:卓上丸ノコのベース巾より短い材料は丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないので切断をしない。	丸ノコ刃に手を近づけすぎると、手が触れて、ケガの原因となる	5	3	15	●●	短い材料の切断禁止:卓上丸ノコのベース巾より短い材料は丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないので切断をしない。	作業員
		ホ 万力の使用:卓上丸ノコのベース巾より短い材料は、丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないので卓上丸ノコのベース巾より短い材料を切断する場合は安全確保の為、万力を使用する	丸ノコ刃に手を近づけすぎると、手が触れて、ケガの原因となる	5	3	15	●●	万力の使用:卓上丸ノコのベース巾より短い材料は、丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないので卓上丸ノコのベース巾より短い材料を切断する場合は安全確保の為、万力を使用する	作業員
		ヘ 卓上丸ノコ使用中:セーフティカバー(保護カバー)は、絶対に固定しない 又、円滑に動く事を確認して慎重に使用する	ノコ刃が露出したままでと、ノコ刃に触れケガの原因となる	5	4	20	●●●	卓上丸ノコ使用中:セーフティカバー(保護カバー)は、絶対に固定しない 又、円滑に動く事を確認して慎重に使用する様指導周知する	作業員
		ト 長物材切断時:材料の重みでノコ刃が挟みつけられない様に、必要な時には、切断する材料の受け台を設ける	ノコ刃が挟みつけられると、思わぬ動きによりケガの原因となる	4	3	12	●●	長物材切断時:材料の重みでノコ刃が挟みつけられない様に、必要な時には、切断する材料の受け台を設ける様指導周知する	作業員
		チ 使用中は、ノコ刃や回転部及び切り屑の排出部へ手や顔などを近付けられない	切り屑が目に入りケガの原因となる	4	4	16	●●	使用中は、ノコ刃や回転部及び切り屑の排出部へ手や顔などを近付けられない様周知する 又、必要に応じ保護メガネの使用を教育指導周知する	作業員
		リ 回転物に巻き込まれる恐れがあるので、軍手の着用はしない	軍手が回転物(刃)に巻き込まれケガの原因となる	5	4	20	●●●	回転物に巻き込まれる恐れがあるので、軍手の着用はしない様指導周知する	作業員
		ヌ スイッチを入れノコ刃の回転が完全に上がって安定してから、ハンドルを静かに下げて材料に近付ける	丸ノコ刃に手を近づけすぎると、手が触れて、ケガの原因となる	5	3	15	●●	材料を固定している手:卓上丸ノコの刃に近付けられない様、手を丸ノコ刃から十分に離して巻き込まれない様慎重に使用する様指導周知する	作業員
⑩ 片付け	① 材料切断作業終了後:残材片付け、清掃、整理整頓を確実に実施する	オ ノコ刃が材料に接したらハンドルを徐々に押し下げて切り込む	丸ノコ刃に手を近づけすぎると、手が触れて、ケガの原因となる	5	3	15	●●	材料を固定している手:卓上丸ノコの刃に近付けられない様、手を丸ノコ刃から十分に離して巻き込まれない様慎重に使用する様指導周知する	作業員
		カ 1回の切断又は切り込みが終わる毎に、スイッチを切ってノコ刃の停止を確認し、ターンテーブル上面から必ず切り落とした材料を取り除いてから、つぎの段取りをする	切り屑が目に入りケガの原因となる	5	4	20	●●●	使用中は、ノコ刃や回転部及び切り屑の排出部へ手や顔などを近付けられない様周知する 又、必要に応じ保護メガネの使用を教育指導周知する	作業員
		キ 切断が終わったところでスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げる	材料切断後ノコ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると材料がノコ刃に巻き込まれて飛散する	5	4	20	●●●	切断が終わったところでスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げる様指導周知する	作業員
		ク 卓上丸ノコ使用中:一人作業では、繰り返し作業や作業に没頭しすぎると慣れによる集中力の低下が起こりやすいので注意喚起する	卓上丸ノコ使用中:繰り返し作業や作業に没頭しすぎると慣れによる集中力の低下が起こる	5	4	20	●●●	卓上丸ノコ使用中:一人作業では、繰り返し作業や作業に没頭しすぎると慣れによる集中力の低下が起こりやすいので注意喚起周知する	作業員
				4	4	16	●●	材料切断作業終了後:残材片付け、清掃、整理整頓を確実に実施する様周知する	作業員
⑪ 卓上丸ノコの移動	① 電源プラグから電源を抜いて移動する		電源につないだ状態で誤ってスイッチに触れると、ノコ刃が回転しケガの原因となる	3	1	3	●	移動時:卓上丸ノコの電源プラグが、電源から抜かれている事を確認してから移動するよう指導周知を徹底する	作業員
⑫ 卓上丸ノコの手入れ及び留意点		① 電源工具のスイッチを切り電源プラグを電源から抜く: 使用しないまたは、修理する場合							
		② 電源工具のスイッチを切り電源プラグを電源から抜く: 刃物など付属品を交換する場合							
		③ 電源工具のスイッチを切り電源プラグを電源から抜く: 電動工具に違和感があり、危険が予想される場合							
		④ 安全に能率よく使用する為: 刃物類は常に手入れし、良く切れる状態を保つ							
		⑤ 安全に能率よく使用する為: 注油や付属品の交換は取扱説明書に従って行う							
		⑥ 取扱説明書: 卓上丸ノコ取扱説明書は、手元において必要時に確認する							